

## ● Photo sketch ●



### 11/29 ナイスシュート!

山神保育園の4歳児19人が、プロサッカーチームFC岐阜のコーチによるサッカー教室を体験しました。園児らは、まずサッカーボールを頭に載せてバランスを取ることや、股の下からボールをくぐらせてペアの子に渡すことなどボールと友だちになり、後半はボールを蹴ってゴールを狙うゲームをしました。園児らは、「たくさん動いて汗をいっぱいかいた。次は園のみんなでサッカーがしたい」と笑顔いっぱい話してくれました。



### 11/29 キャッチボールで目指せ! 日本一!

9人1組で2分間にできるキャッチボールの回数を競う大会「キャッチボールクラシック2017」。その全国大会に出場する妻木小学校の4～6年生の児童10人が市役所を訪れました。児童らは妻木野球クラブのメンバーで、8月に行われた県大会で出場30チーム中、見事優勝を果たし全国大会への切符を手に入れました。「悔いの残らないように頑張りたい。目標は120回を超える事」と力強く意気込みを語ってくれました。



### 12/3 サンタさんといっしょに踊ったよ

岐阜県四肢不自由児者・障がい児者父母の会土岐支部が主催するクリスマス会が泉西公民館で開かれ、同会の会員や市議会議員ら約60人が参加しました。市内を中心に活動する「ちゃわん娘」のメンバーが、サンタクロースなどに扮し鳴子踊りなどを披露すると、会場は大盛り上がり。出演者、参加者入り乱れて元気に踊り、ひと足早いクリスマス気分を楽しみました。



### 12/3 川柳で脳をいきいき 活性化

文化プラザで、島田駱舟・齊藤由紀子「川柳De脳トレ」が催され、約60人の川柳ファンが市内外から訪れました。島田さんによると、川柳は古くは江戸時代から脳を活性化させるものとして栄えてきたとのこと。参加者らは出されたお題に対して、頭を悩ませながらも真剣な様子で作句に励んでいました。優秀者の作品がスクリーンに映し出されると、会場からは拍手や感嘆の声が湧き上がっていました。



### 11/23 秋の実り 早い者勝ち!

セラトピア土岐でアグリフェスタ2017(土岐市農業祭)が開かれました。会場は野菜や蜂蜜などの地元農産物の販売コーナーのほか、和太鼓演奏やお米クイズなどの各種イベントも充実。中でも、約300キロ用意された人参を20秒間で袋に詰め放題できるイベントや、1,500パック用意された卵の無料配布などは長蛇の列ができるほど盛況でした。両手に袋を抱え買物を楽しむ方や、生産者との会話を楽しむ方などで活気にあふれ、皆さん秋の实りを満喫している様子でした。



### 12/2 お味はいかが? “ベリー”グッド

鶴里公民館で「ベリーベリープロジェクト・ジャムパーティー」が行われ、市民ら約20人が参加しました。同プロジェクトは、市民と市が協働でまちづくりに取り組むワークショップ「土岐くらしのラボ」から生まれたもので、将来的にはブルーベリーなどの栽培を市内に広め、特産品としてPRしていこうという活動です。参加者らは、鶴里町や曾木町で採れたブルーベリーを煮詰め、丁寧にあくを取り除きながらジャム作りなどに取り組みました。調理後は、メレンゲを使用したふわふわ食感のパンケーキに作りたてのジャムを添え、和やかな雰囲気ですべてを堪能しました。

